

<学部等>

別紙2

意見書

I 対象となる学部等

教育学部及び教育学部附属学園

II 自己点検、外部評価実施時期

自己点検評価実施時期 令和3年11月

外部評価実施時期 令和4年1月

III 評価結果

総論的に、教育学部及び教育学部附属学園について、

1. 活動は本学及び学部等の使命・目的に沿った適切なものである
2. 活動によって質の向上が図られている。
3. 外部評価における意見への対応は適切である。

と評価される。

特記すべき点として、外部評価者からの意見に対して、適切で具体的な対応策・状況等が明示されている。今回の外部評価結果を基にした部局の質の向上が期待される。部局内での共有の上、質の向上に向けた具体的な取組を進めていただきたい。

更に、別紙1-1に記載されたように、コロナ禍にも拘わらず、多くの指標で第2期よりも質の向上が見られ、様々な優れた点があげられる。

改善を要する点として、外部評価者や質保証委員会（別紙1-1）からあげられた改善を要する点等について、適切な方策を実施し、改善・質の向上に繋げていただきたい。

なお、外部評価の基盤となるのは自己点検・評価であり、次回からは、自ら、エビデンスに基づき、其々の評価項目について、「分析結果とその根拠理由」の記載並びに「今後の課題」の抽出をお願いしたい。その際、今後の課題について、対応策なども提示いただき、外部評価者からご意見への対応と併せ、部局内で共有の上、教育学部の質向上に繋げていただきたい。

<学部等>

別紙1

全学内部質保証委員会としての意見書

I 対象となる学部等

教育学部及び教育学部附属学園

II 自己点検、外部評価実施時期

自己点検評価実施時期 令和3年11月

外部評価実施時期 令和4年1月

III 評価結果

1. 活動は本学及び学部等の使命・目的に沿ったものであるか

適切である

2. 活動によって質の向上が図られているか

図られている

3. 外部評価における意見への対応は適切か

適切である

4. その他、特記すべき点・改善を要する点等

(1) 特記すべき点

コロナ禍にも拘わらず、多くの指標で第2期よりも質の向上が見られる。特に、第3期中期目標期間の教育に関する現況分析結果で高く評価された以下の項目は特記すべき点である。

- 教育実習の事前事後学習として「学校体験学習」の導入。
- 高校生と大学生が交流する授業「教職実践研究公開クロスセッション」の開催。
- 福井県公立学校教員採用試験現役合格者の増加及び学部生受験者の合格率の向上。
- 初等3系（学校・地域連携系）における学校・地域連携教育で「ふくリンピック」企画。地域志向人材育成のための「ふくい地域創生士」資格制度創設。
- 「学生代表と学部長等との懇談会」に基づく学習環境の整備

(2) 改善を要する点

○ 強いて言えば、外部評価委員から「情報発信」「外部への発信」が弱いとの指摘があるので、コロナ禍の長期化を考慮し、既存の発信方法ではなく新たな発信方法の検討が必要ではないか。

<学部等>

別紙 1

全学内部質保証委員会としての意見書

I 対象となる学部等

教育学部

II 自己点検、外部評価実施時期

自己点検評価実施時期 令和3年11月

外部評価実施時期 令和4年1月

III 評価結果

1. 活動は本学及び学部等の使命・目的に沿ったものであるか

適切である

2. 活動によって質の向上が図られているか

図られている

3. 外部評価における意見への対応は適切か

適切である

4. その他、特記すべき点・改善を要する点等

(1) 特記すべき点

- 外部評価者からの意見に対して、適切で具体的な対応策・状況等が明示されている。今回の外部評価結果を基にした部局の質の向上が期待される。部局内での共有の上、質の向上に向けた具体的な取組を進めていただきたい。
- 地域の教育力向上に貢献できるよう、嶺南地域教育プログラムとセットになった「嶺南地域枠入試」を導入している。
- CST 養成・支援事業、ジュニアドクター養成塾など、本学の目指す「学びの母港」構築に寄与している。
- 内部質保証として学生の参画が求められていることに的確に対応するよう、「学生代表と学部長等との懇談会」が定期的で開催され、学習環境の整備に資している。
- 国立大学初となる、附属小中学校を統合して附属義務教育学校を創設し、小中一貫カリキュラムの開発、教職大学院の海外教員研修の拠点など、十分機能を果たしている。

(2) 改善を要する点

- 外部評価受審に向けて、多くの資料など豊富なエビデンスを提示する外部評価のための資料（自己点検評価書）が作成され、外部評価者による評価に際し十分なエビデンスとなっており、有効に活用されている。しかしながら、外部評価の基盤となるのは自己点検・評価であり、次回からは、自ら、エビデンスに基づき、其々の評価項目について、「分析結果とその根拠理由」の記載並びに「今後の課題」の抽出をお願いしたい。その際、今後の課題について、対応策なども提示いただき、外部評価者からご意見への対応と併せ、部局内で共有の上、教育学部の質向上に繋げていただきたい。
- 外部評価者からの意見もあるように、教員就職率向上のための更なる工夫が望まれる。その一環として、入学後の教職への意欲のフォローアップはもちろん必須な取組みであるが、教職への意欲の高い入学生の確保に繋がる「高校生の教職への興味の掘り起こし」に更に努めていただきたい。